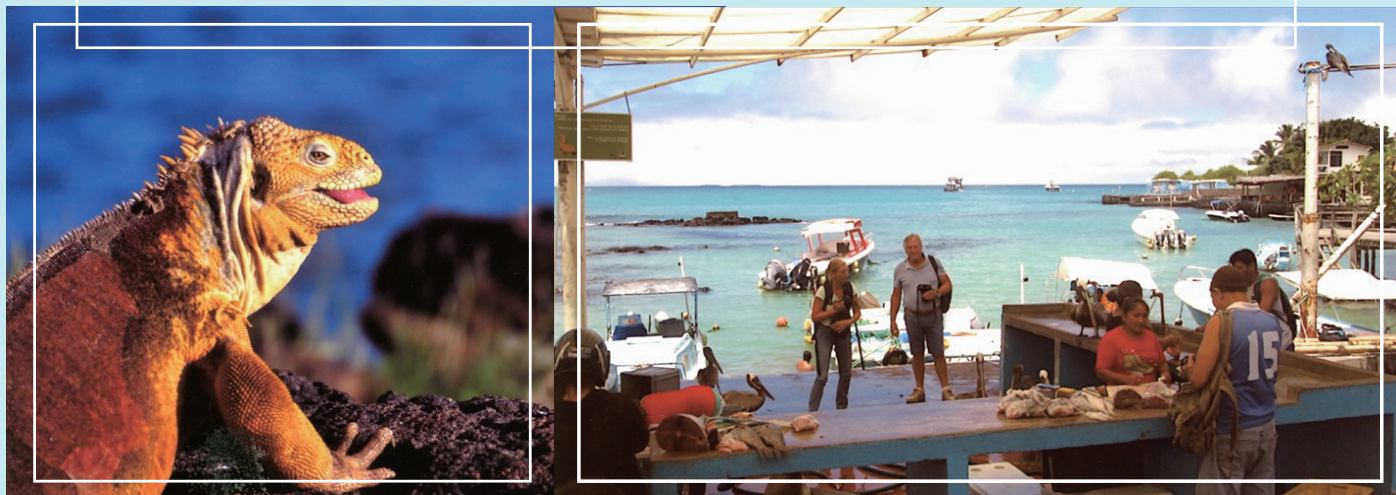


■ チャールズ・ダーウィン研究所等の小笠原訪問 ■

ガラパゴスから専門家をお招きし、観光を主とする経済活動と保全が融合する「エコツーリズム」の仕組みについて講演会を行います。



講演会

「初代世界自然遺産登録地 ガラパゴス諸島の エコツーリズム 観光と保全を両立させる仕組み」

対面(遺産センター)+YouTube配信

「進化の島」として特異な生態系を保全してきたガラパゴス諸島では、同時に世界に開かれた観光地として年間 20 万人以上の訪問者を受け入れています。守らなければならない自然を観光資源としても活用し、島民の経済活動を支える持続的な先進的仕組みについて、ガラパゴスの事例をご紹介します。

日時：2023(令和5)年1月20日(金)19:00～21:00

会場：環境省小笠原世界遺産センター(小笠原父島)

演者：◆ラカン・ザハウィ博士「ガラパゴスのエコツーリズムの現状と仕組み」
チャールズ・ダーウィン財団理事長(チャールズ・ダーウィン研究所長)



◆マリリン・クルス博士「ガラパゴス観光の大前提：バイオセキュリティ」
ガラパゴス・バイオセキュリティ局局长



英語または西語による
講演(スライド写真付き)
を逐次通訳いたします。

※ 講演参加は無料です。YouTube の URL は日本
ガラパゴスの会ホームページ(QR)コードから
繋がります。詳細はホームページをご覧ください。



日本ガラパゴスの
会ホームページ



主催：東京都

実施事務局：NPO 法人日本ガラパゴスの会(NPO 法人小笠原自然文化研究所、ピーアイオー)、東京都(小笠原支庁、環境局)

協力：チャールズ・ダーウィン財団(CDF)、エクアドル環境省ガラパゴスバイオセキュリティ局、
公益財団法人東京都公園協会、小笠原村観光協会、小笠原商工会

後援：環境省関東地方環境事務所、林野庁関東森林管理局、小笠原村

問合せ：NPO 法人日本ガラパゴスの会

E-mail: info@j-galapagos.org

東京都環境局緑環境課 03-5388-3508

小笠原支庁土木課自然環境担当 04998-2-2167